



大和市の **今** をお伝えします。

大和市議会議員

町田れいじ 市政報告



メールアドレス:machidareiji@gmail.com

やまと市議会

報告

市民に愛される病院で

あり続けるために

大和市立病院の課題

市は広報紙などを通じて市立病院が地域がん連携拠点病院に指定されたことや経営が黒字化したことなどを度々アピールしています。しかし、その一方で「待ち時間が非常に長い」「一部の医者の診察に信頼がけない」などのご意見も度々耳にします。また、黒字化といっても市からは「負担金」などの名目で毎年十数億もの税金が投入されていることから、今回の議会では市立病院の課題と今後の方針について質問と政策提案を行いました。病院からは、種々の問題の抜本的な解決策である医者や看護師など人員体制の強化や、医療情報の開示に向けた準備などについて前向きな答弁がありました。



手詰まり感のある待ち時間対策

待ち時間の問題は全国的な患者数の増加によって大きな病院共通の悩みになっています。今年の四月から特定病院や五〇〇床以上の大病院では紹介状無しで受診すると最低五〇〇〇円の特別料金を支払わなければならないになりましたが、市立病院では「初診時紹介無選定療養費」として一九四四円を請

求されます(急患など一部のケースを除く)。これらのルールは病院の適正利用(混雑解消)を目的の一つとしていますが、効果は捗々しくなく、別表のとおり昨年はわずかながら待ち時間が延びています。いわゆる「三時間待ちの三分診療」などと言われる状態は患者さんのストレスもさることながら、長く患者さんを集団で待機させることによる二次感染のリスクもあることから、さらなる待ち時間短縮への取り組みを求めました。



外来患者平均待ち時間

	予約	予約外
平成23年	0:21	1:01
平成24年	0:31	1:08
平成25年	0:22	1:06
平成26年	0:22	1:04
平成27年	0:24	1:10

(時間：分)

看護師の勤務体制について

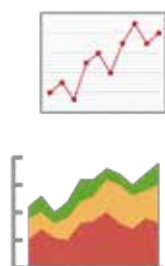
市立病院の看護師さんは一回八時間の勤務時間を基本に、主に三種類の

医療情報の開示について

少し専門的なトピックになります。厚労省は今年、大規模な病院に対しアウトカム(各種の医療情報)の開示を求めていく方針を発表しました。市立病院は地域がん連携拠点病院ですので、ホームページ等がんに関係する医療情報はある程度公開しています。がん以外のアウトカム開示は行っていません。報道では①年代別の入院患者数。②五大がんのステージ別患者数。③診療科別・手術別の入院日数。④診療科別の症例数。⑤脳梗塞のタイプ別患者数。⑥肺炎の重症度別患者数。⑦その他(血液性臓器障害など)の七つ



の指標が開示対象になる見込みであるとされており、これらのデータを収集・整理するだけでも相当な事務量になることから、市立病院に対し開示に向けた準備を始めていくよう求めました。



中学校でも 寺子屋がスタート

今年度から小学校全校・全学年で実施されている「放課後寺子屋やま」とを平成二十八年九月から中学校一校をパイロット校として実施すると発表がありました。具体的には希望する生徒に放課後、個別の学習支援を行うというものです。これは「小学校での寺子屋が学力向上(大和市は全国学力テストにおいて近年わずかながら成績が向上している)につながった」という市の自己評価に基づいた事業拡大なわけですが、寺子屋は「もともと意識の高い児童」が参加しているケースも多く、本市の学力向上のポイントである「底上げ」に対する効果は限定的ではないかと私は考えています。「底上げ」については、読書時間が増え、貸し出し冊数も劇的に伸びている学校図書館(図書室)の地道な取り組みが、本市の児童が特に苦手としていた国語の「読解力」「表現力」の成績向上という成果をあげており、それが算数・数学の文章問題での正答率向上にも繋がっているものと思われれます。また中学校での実施となった場合、特に塾に通っていない生徒などにとっては有益であるものの、部活とどちらが優先されるのかという問題もあり、パイロット校での取り組みが注目されるところです。



町田れいじ近況報告

被災地を訪れて

熊本から

去る三月十四日〜十六日にかけて発生した「平成二十八年熊本地震」は、熊本県と大分県にまたがって甚大な被害を及ぼし、今なお多くの方々が避難生活を送っておられます。大和市は本震があった四月十六日には早くも支援隊を開始し、宇土市に緊急支援隊の先遣隊を派遣しました。私も何か現地でお役にたてることがあれば、と思つていました。この時期は熊本県協がボランティアの自粛を呼び掛けていたこともあり、はやる気持ちを抑えつつ、情勢を見守っていました。その後、五月に入りようやく現地の拠点から受け入れが整った旨、連絡がありましたので五月十七日〜十九日に古谷田議員と二人で阿蘇市に行き、倒壊家屋の解体と廃棄の作業を行いました。この地域は四年前に大水害、昨年は阿蘇山の噴火、そして今回の地震と度重なる自然災害に苦しめられており、住民の方々の困難は想像するに余りあるものです。解体をお手伝いさせて頂いたお宅のご主人は「本当はもう出ていきたい気持ちだ。でも、どこにも行く場所はないし、先のことを考えても辛くなるだけ。やるべきことをやるしかない」と思っているが、決して前向きな気持ちでやれているわけではない」とおっしゃっていました。



▲倒壊住宅の片づけ作業 (阿蘇)

最終日には益城町の避難所で働いている知り合いを訪ねました。地震による倒壊に加え、液状化などの被害があ

り、そのどれもが「想定外」だったとされる益城町の状況を伺い、大災害の度に繰り返される「想定外」の言葉に、災害への備えの難しさを改めて感じました。「とにかくできることは無駄でも何でもやっておく。当たり前のようでもそれしかない」とのアドバイスもいただき、早速六月の市議会で政策提案を行いました。



段一た 持た階 にかつ での 所と作 化が所 難ルで 状上難 避ポテ 個 段 (益城)

東北の今

今年の3・11は福島で過ごしました。いわき市内で暮らしておられる大熊町・双葉町の方々と一緒にこれまでの歩みを振り返り、共に泣き、一日も早い帰還を祈りました。

五月にはこれまで支援活動を行ってきた場所を巡り、開通した福島の国道六号線を初めて走りました。震災直後から支援に入った石巻市の小学校はすっかり綺麗になり、子どもたちの声も戻っていました。



▲石巻市内の小学校 (2011年)



▲同じ小学校 (2016年)

My Blog HPのブログも更新中
http://reiji.info
大和のこと、日本のこと、日々感じることを随時更新していきます。是非、ご覧下さい。

山元町では流されてしまったJR常磐線の駅や線路が内陸側に再建され、周辺に新市街地を開発する工事が進んでいました。また福島の沿岸地域も、原発被害の影響が小さいところはかさ上げがすすみ、以前とは全く別の風景が広がっていました。他にも女川町や名取市、亘理町などを通りましたが、ほとんどの地域で震災直後の様子が窺い知れるものは姿を消し、新しい街造りが形として見えるレベルにまで復興しつつあることが見て取れました。しかし、それだけに三月に出会った大熊や双葉の方々が住んでいた、国道六号沿いの街並みが一段と強く印象に残りました。バリケードに閉ざされた道や、静かに朽ちようとしている街並みを思い出すと、きれいで前向きな言葉は正直何も浮かんで来ません。うまく纏めることもできません。ただ、まだまだこれからのなんだと、しみじみ感じさせられました。



▲国道六号線 大熊町役場付近

編集後記
市政報告をお読みいただきましてありがとうございます。この原稿を書いている時点ではまだ参院選の真っ最中ですが、結果はどうだったのでしょうか。現時点では「自民党が単独過半数を獲得。改憲勢力が三分の二を超える見込み」などと報道されていますが、どのような結果であるにしろ国民は自分たちの選択に責任を負わなければなりません。民主主義の先生とも言えるイギリスのEU離脱を巡る動向を見ると結局政治家は責任から逃げ、そのツケは直接国民に行くことになるように思えます。民主主義は行きつ戻りつ、成功と失敗を繰り返しながら成熟していくものだと大学では教わりましたが、成熟の先に何があるのか、その答えはありません。将来、平成二十八年の参院選が歴史的なターニングポイントだったと言われるかもしれませんし、実はもっと前にそれはあったのかもしれない。



発行 町田れいじを支える会
町田れいじの活動を応援して下さる方を募集しております。会費は無料です。お申し込みはホームページ、もしくはハガキかFAXにて。直接お電話いただいてもOKです！
〒242-0005 大和市西鶴間6-13-12 TEL:046-283-3455 FAX:046-273-4175

「やまとスタイル」その他の政策はWebをご覧ください。
http://reiji.info
E-mail: machidareiji@gmail.com
メルマガ配信中 「GO!GO!れいじ!~町田れいじの市政報告~」 市政報告やイベント等の情報を配信するメルマガです! 「まぐまぐ!」で「町田れいじ」と検索してください! まぐまぐ!→http://www.mag2.com/